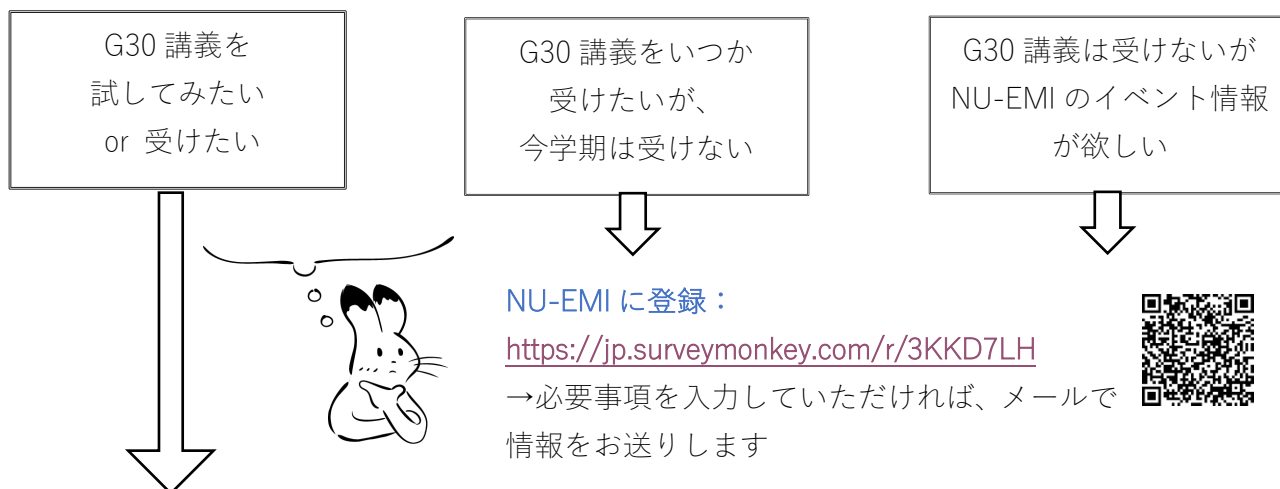


NU-EMI 2023 Fall

登録方法と G30 講義受講・サポートまでの流れ

今学期は以下の登録方法とします



Step1 講義を探して、受講方法を決めよう！

Step2 登録する！

Step3 講義の受講+サポート

Step1 講義を選んで、受講方法を決めよう！

<講義の探し方>

①どんな講義があるのか、NU-EMI のホームページのコースリスト&タイムテーブルをみてね。

★ NU-EMI ホームページには日本人学生の受け入れがウェルカムな講義を載せています。

●コースリスト・タイムテーブル：<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/course/>

-タイムテーブルの「講義名」をクリックするとシラバスが見られます。

-タイムテーブルの「教員名」をクリックすると教員からのメッセージが見られます。

-タイムテーブルの下の方には、講義の詳細が一覧表にしております。PDF は全体が見られます。

Hint! 自分に空きコマや、興味、講義の難易度、過去の受講生の体験談などを参考に探してみよう。受講者体験談：<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/experiences/>

②その他の G30 講義を探す方法

●教養教育院サイト：全 G30 全学教育科目(ILAS)のリスト (下の PDF をご参照ください)

https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/files/kyomu/G30/2023fall/2023_Fall_TimetableB.pdf

●名大ポータルでシラバス検索：講義名、教員名等で講義を探してください。

*日本人学生の受け入れをしてくれるかは、各自で担当教員に問い合わせてください。

困ったら、NU-EMI 事務室にも相談してくださいね。(問い合わせ方法は、Step2 で)

<受講方法を決める>

3つの受講方法：①「単位取得を目指す」あるいは②「聴講」という2つの方法があります。

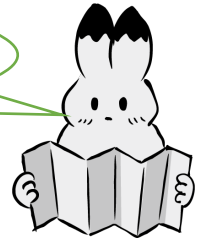
Hint! 迷った場合、英語力など色々心配という場合はまず③「お試し受講」がオススメです。

① 「単位取得を目指す」：名大ポータルで『履修手続き』をして、単位の取得を目指します。
所属学部、学科、学年によって、G30 講義の単位の扱いは異なります。

- ・「卒業に必要な単位」と認める場合
- ・卒業に必要な単位数に数えない「随意科目」**として扱う場合
- ・そもそも制度的に履修できない場合

詳細は別紙「国際プログラム専門科目の履修：学部別修得単位と GPA 参入について」や、
所属の教務に確認してください。 参照 <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/credits/>

Hint! 学部、学科、学年によって、G30 講義の単位の扱いは異なります。
詳細は所属の教務に確認することをオススメします。



G30国際プログラムの講義の種類と履修の可否まとめ

2023/8現在

		G30講義				学部専門科目	大学院講義
		ILAS			履修可否については、自分の所属学部学科の制度による		
		全学教育科目	国際理解科目	その他のILAS科目			
		EMI科目	G30・一般共修科目				
新カリキュラム	新1年生(2023年入学) 留年1年(2022年度以降入学)	履修不可	履修可能	履修不可			
	新2年生 (2022年入学者)	履修可能	履修可能	履修不可			
旧カリキュラム	新3年生以上(2021以前入学)留年2年生、留年1年生含む	担当教員から許可を得られれば、随意科目として履修可能	履修可能	担当教員から許可を得られれば、随意科目として履修可能		履修不可	

* 随意科目 = 卒業要件単位にならない科目

* 履修不可の科目は、担当教員の許可を得られれば、聴講できます。聴講 = 単位にならない

参考：全学教養科目について

- ・全学教養科目 国際理解科目「G30・一般共修科目」：学部生は卒業に必要な単位として履修可能。(下のリスト 秋学期は5科目)

時間割コード	科目区分名称	科目名	受講対象学部クラスグループ名	学期区分名	曜日名	時限名	教員名
52411	G30科目	Immigration in Japan	全学部 (英語授業)	G30春学期	火	4 限	ISHIKAWA CLAUDIA
53611	G30科目	SML (Introduction to functional analysis)	全学部 (英語授業)	G30春学期	水	6 限	RICHARD Serge charle
55521	G30科目	Studium Generale B	全学部 (英語授業)	G30春学期	金	5 限	VASSILEVA Maria Niko
61611	G30科目	SML (Mathematics for machine learning)	全学部 (英語授業)	G30秋学期	月	6 限	BACHMANN Henrik lenn
63411	G30科目	Introduction to Intercultural Competence	全学部 (英語授業)	G30秋学期	水	4 限	楠元 景子
63611	G30科目	SML (Introduction to stochastic calculus)	全学部 (英語授業)	G30秋学期	水	6 限	RICHARD Serge charle
65431	G30科目	囲碁と日本文化	全学部 (英語授業)	G30秋学期	金	4 限	重野 由紀
65521	G30科目	Studium Generale A	全学部 (英語授業)	G30秋学期	金	5 限	VASSILEVA Maria Niko

- ・全学教養科目 国際理解科目「EMI科目」*：1年生は履修不可。2年生は卒業に必要な単位として、3年生以上は、随意科目**として履修可能。

*一覧へのリンク <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/wp/wp-content/uploads/2023/09/eb8c24ae41cafd3c072f0330b9c6b8a2.pdf>

** 「随意科目」：卒業要件に関わらない授業科目で、5段階により成績評価がなされ成績表に記載されます。
なお、GPAには算入しません。

② 最後まで「聴講する」：単位取得を目指さない/（制度的に履修登録できなくて）目指せないが、最後の講義まで受講し続ける方法です。

- ・まず、担当教員に聴講の許可が必要です。TACT(元 NUCT)リストに追加してもらいます。
- ・講義には毎回出席してください。出席したりしなかったりは認められません。
- ・受講の記録は成績表に記載されません。（記録が残りません）
- ・課題、試験等については、担当教員と相談してください。
- ・聴講を途中で止めるなど、変更がある場合は必ず担当教員と NU-EMI に連絡してください。
- ・聴講の場合でも、担当教員が認めれば、サポートを受けることは可能です。



③ 「お試し受講」：1 回分、講義をお試しで受講ができます。試してから、単位取得を目指すか、聴講するか、受講しないかを決められます。

- ・お試し受講期間は 10/2 (月)から 10/11(水)までです。
- ・まず、担当教員と NU-EMI にお試し受講の希望を伝え、TACT(元 NUCT)リストに追加してもらいます。
- ・お試し受講した結果、受講するか否かを 10/13(金)までに教員に必ず連絡してください。
- ・また、単位取得受講(履修)する場合は、名大ポータルで履修登録（修正入力期間は 10/3～/11(水)13 時）を忘れずに！
- ・NU-EMI 登録に再入力し、お試し受講した結果と、サポートの要不要を連絡してください。

Step2 登録する！

★NU-EMI の受講登録：_

受講方法、サポートの要不要にかかわらず、下のリンクより必ず登録してください。

教員との連携およびサポートを手配します。また各種情報を提供します。

なお、名大ポータルの履修登録や TACT(元 NUCT)とは、連携していません！

リンク：<https://jp.surveymonkey.com/r/3KKD7LH>



★担当教員へメール：_

受講する講義の担当教員にメールで、受講（単位取得、聴講）/お試し受講の意志を伝えてください。

聴講、お試し受講の場合は TACT リストに追加してもらってください。

- ・メールアドレスは、講義一覧あるいはシラバスに記載されています。

Hint! メールの書き方は、後ろの方のテンプレートを使えば書けますよ。

★単位取得を目指す場合は名大ポータルで履修登録：履修登録、修正期間中

NU-EMI の登録と名大ポータルは別で、連携していませんので、それぞれおこなってください。

Step3 講義の受講+サポート

① 10月2日（月）から講義が始まりますので、それぞれ受講してください。

② NU-EMI のサポートも順次スタートします。

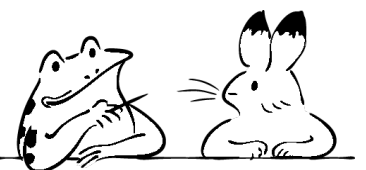
- ・サポート対象者：学期を通して G30 講義を受講し、サポートを 15 時間以上受け続けることができる方。

（講義を途中から継続できなくなった場合はサポートも中止します。）

- ・サポート方法：NU-EMI が講義担当教員に相談し、手配します。

* 語学の講義、体育や実習、囲碁などの講義はサポート対象外です。

* Studium Generale は講義に TA がつきますので、サポート対象外です。



サポートの種類

●個人指導

- 1) 担当教員が指名した G30 留学生チューター or 留学生の大学院生等による 1対1 の個人指導
- 2) 指導時間数は学期を通じて 30 時間まで (週 1.5~2 時間程度)。少なくとも 15 時間以上は指導を受けてください。
- 3) 指導内容、指導の方法 (対面/オンライン、実施日時、場所等) はチューターと決められます。
- 4) 個人指導は無料で受けられます。留学生チューターは NU-EMI プロジェクトで雇用しています。
- 5) 指導に関しては、こちらの注意事項を必ず守ってください。

http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/wp/wp-content/uploads/2020/06/tutoractivityinstructions2023Fall_230921.pdf

参考) チューター活動について G30 学生が作ってくれたビデオです。

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/video/>

●グループ学習

- 1) 担当教員が指名した留学生の大学院生 TA と複数の日本人学生とでグループで学習します。
- 2) グループ学習は学期を通して参加してください。指導時間数は週 1.5~2 時間程度。少なくとも 15 時間以上は指導を受けてください。
- 3) 指導内容、指導の方法 (対面/オンライン、実施日時、場所等) は TA と決められます。
- 4) 指導は無料で受けられます。留学生 TA は NU-EMI プロジェクトで雇用しています。
- 5) 講義内容によって、講義の担当教員が初めからグループ学習を決定しているものもあります。お試し受講であっても、グループ学習に参加できる場合があります。

<参考情報>

★ 受講者説明会

日時：10月4日(水) 12時10分から12時50分

場所：ES 総合館 ES 会議室

方法：対面とオンライン(Zoom)のハイブリット

登録：不要

“G30 教員や、留学生、受講経験者のお話もありますので、ぜひお気軽にご参加ください。”

当日の録画を NU-EMI webpage に掲載予定です。

★ 受講お悩み相談会

日時：10月6日(木)、7日(金) 午後1時から4時

場所：理学部 E 館 2階 E202

方法：対面

登録：不要

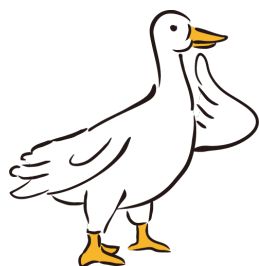
“受講経験者、G30 学生や、NU-EMI コーディネータに聞いてみよう”

どの講義を取ったらいいかわからない? G30 学生と個人指導ってどんな感じだろう? など、何でもお気軽にご相談ください。”

★ ご質問や困ったことがあった場合は、お気軽に NU-EMI 学生窓口へご連絡ください。

NU-EMI 学生窓口：<https://jp.surveymonkey.com/r/VRRTV7Y>

続いて、教員へのメールの書き方です



担当教員へメールを送ろう！

- ★必ず全学のメールアドレスから送ってください。（教員が必要な情報です。）
- ★テンプレートの<>内の青文字部分を入れるだけで大丈夫です。
- ★G30 教員には、皆様からメールが届くことをお伝えしていますので、大丈夫です。
* Studium Generale(金曜5限)は教員へのメールが不要です

<メールテンプレート>

1) 受講の希望を教員に伝えるメール文例:

メールのタイトル : Request to take your course: from a NU-EMI student

メールの本文

Dear Professor <Professor Family Name: 例 Professor Smith>,

自
分
の
情
報

I am <Full NAME 名前 例 Hanako MEIDAI (Family name 苗字は CAPITAL letters 全部大文字)> ,
a < 学年 例 first, second, third, fourth > year <SCHOOL 学部 Science, Law, Engineering 等>
student.

My student number is <学生番号 1111111 (only numbers 数字だけ) > and my Nagoya University
ID is, < 名大 ID aa0000000 (letters and numbers アルファベットと数字)>.

受
講
方
法

受講方法によって、a,b,c,d の場合から一つ選んでください

a.単位取得受講の場合、

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> for credits.

b.最後まで聴講のみの場合

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> to audit to the end.

c.学部の制度上、単位が取れないため、聴講のみの場合

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> to audit to the end, because regulations
do not permit me to officially take your course.

d.お試し受講の場合、

I would like to try your course, <COURSE NAME 講義名> before I decide whether to take it or not.

講
義
内
容
の
知
識

教員への情報として、講義内容の知識をお伝えすると教員も対応しやすいです。

a, b, の場合から一つ選んでください。

a.講義内容について全く知識がない場合（他学部・学科の講義を受ける場合など）

I have no experience with your course content.

b.講義内容に近い講義を、<日本語で・英語で>受講した経験がある場合

I have taken similar course < Course name > in <Japanese /English > before.

お
わ
り
に

I ask that you add me to the TACT/CANVAS list so that I can access your course material.

Best regards,

<Full NAME 名前 例 Hanako Meidai>

2) 受講をやめたい場合のメール文例

受講をやめるのは、何も悪いことではありません。そのように決めた場合、教員にその旨伝えることはとても大事です。受講しないと決めた場合は必ず連絡して下さい。

メールタイトル : Request to withdraw from your course: from a NU-EMI student

メールの本文

Dear Professor <Professor Family Name: 例 Professor Smith>,

I am <Full NAME 名前 例 MEIDAI Hanako (family name in CAPITAL letters 苗字は全て大文字で)> ,
student number <学生番号 1111111 (only numbers 数字だけ) >.

I would like to withdraw from your course <COURSE NAME 講義名>.

Best regards,

<Full NAME 名前 例 Hanako Meidai>

NU-EMI プロジェクト